

(1) 原子力政策について

原子力はひとたび事故が起これば甚大な被害をもたらすだけでなく、運良く事故を免れたとしても10万年未来の世代にまで管理が必要な「核のゴミ」を残します。

福島第一原発事故で、「安全神話」が崩壊するなかで、原子力利用からの早期の離脱政策が求められています。社民党は他の野党と共同で「脱原発基本法案」(2012年等)、「原発ゼロ基本法案」(2018年)を国会に提出し、早期の脱原発を目指しています。

(2) 核燃料サイクル政策について

原発の放射性廃棄物を再処理して、高速増殖炉で燃焼させてリサイクルするという核燃料サイクル計画は既に破綻しています。失敗した「もんじゅ」計画にかわる現実的な高速増殖炉の建設の見込みはなく、再処理したプルトニウムを使う見通し也没有。既に破綻した核燃料サイクル計画に固執することをやめ、完成の見通しもない六ヶ所村の再処理工場計画は直ちに放棄するべきと考えます。